

複雑系の具体的研究例と公共神学

- ①気候現象複雑系 (ノーベル物理学賞):真鍋淑郎、クラウス・ハッセルマン
- ②スピングラス複雑系理論: (同上):ジョルジュ・パリージ
- ③ニューロン集団:半自立系 短距離相互作用。学習による組織化。
- ④ハリケーン:不安定な局所 短距離相互作用。ハリケーン
- ⑤経済活動複雑系:従来の経済モデルの反省⇒各個は、違った経験、優秀さ、賜物をもっており、それらの集合体は、予期できない結果を産む。

”公共神学”:背景の違う一人一人の対話を通した自己組織化。認識の共有、同意。一人一人は、高度な能力、対応力、表裏の意識、芸術的能力、表現力を持っている。また、それらは時間と共に、環境と共に変化する。それらも加味した学問。